

令和元年度 島田市立島田第二中学校



二中だより 7月号

☆校訓 **文化の薫る学校**

☆学校教育目標 「こころざしを持ち 自分の道を切り拓く生徒」

☆合い言葉 「愛 ・ 自治」

令和元年7月1日 発行

勝負の夏！！

3年生最後の夏の部活動の大会が開催される中、全ての大会は見に行けませんが、毎週、応援に行かせてもらっています。まさに中学生にとっては「勝負の夏！！」です。

それぞれの大会の結果は、もちろん積み上げてきた実力だったり、コンディションの善し悪しだったり、組み合わせだったり、怪我だったり、その日の運だったり、見事勝利することもあります。当然負けることもあります。大事なことは、「それら部活動で頑張ってきたこと全てが、人生のいい経験となること」ではないかと思えます。更に、全国優勝でもしない限りいつか必ず負けるわけですから、むしろ、「部活動とは、勝利以外の大切なものを見つける時」と考えてよいのかもしれない。

ところで、何十年も昔の話ですが、私が家のテレビで夏の全国高校野球決勝戦を見ていた時、ある解説者が言ったことを今でも覚えています。その解説者は、「優勝したチームはよく鍛えられ素晴らしいチームでした。敗れたチームはこれからがんばってほしいですね。負けて悔しい思いをした選手の方が将来伸びるんです。」そうかもしれません。

さて、中国由来の七夕伝説は7月7日。同じく二十四節気7月23日は大暑。和風月名では「文月」。その由来は、稲穂が膨らむ季節から穂含月(ほふみづき)が変化したと言われていています。しかし、その他に、①七夕に詩歌をそなえることから文月。②短冊に願いや詩歌を書いて笹に吊るす風習を文被月(ふみひろげつき)と読むことから文月。③七夕に書物を夜気にさらす行事があり、このことを文開く月と呼ぶことから文月など多くの説があります。いずれにしても七夕説は、それはそれでロマンティックな話です。



令和元年7月1日 島田市立島田第二中学校長 池谷 英人